



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



東北関東大震災被災者のために

郡山司教が募金協力呼びかけるメッセージ

三月十一日に発生した「東北関東大震災」では、大津波や火災などにより未曾有の被害がもたらされた。この被害は、状況が明らかになるほどに増大し、国を挙げての、世界が一つになつての支援が必要となっている。この状況に郡山司教は、鹿兒島教区の内各小教区でも募金を行い、仙台教区サポートセンターを通じて被災地へ届けるようメッセージを発表した。

教区の皆さん、三月十一日に発生した「東北関東大震災」は多くの人々の予想を大きく上回るものでした。それだけに甚大な被害をもたらすこととなり、悲しみをとおぼえつつ、亡くなられた方々のためには永遠の安息が、残された家族の皆さんや被災者の皆さんには苦難の中にあつても希望を失うことなく、一日も早く悲しみが癒され、新しい生活への歩みがなされるようお祈りいたしました。

始めていただき、仙台教区サポートセンターにご送金ください(四面参照)。ちなみに、お隣韓国でもすでに募金活動が始まっていると聞きました。よろしくお願いたします。皆さまの上に慈しみの御父からの祝福が豊かに注がれますように。

司教 郡山 健次郎

教区に新たに二人の終身助祭

川口・石神の両師が叙階

三月六日(日)午後二時から、鹿兒島カテドラル・ザビエル記念聖堂で終身助祭叙階式があり、新たに二人が終身助祭の聖位に上げられた。これで教区における終身助祭の数は六人となった。

この日叙階されたのは加世田教会所属の使徒ヨハネ川口茂さん(67歳)とマルチノ石神秀人さん(48歳)の二人。共に所属先の小教



区で宣教奉仕者として活躍するなど、地元で存在感

新風

三月十一日に発生した「東北関東大震災」を体験した外国人記者たちはそれぞれ本国に惨状を通信していましたが、目立ったのは、惨状の報告とは別に冷静沈着な日本人の行動に対する驚嘆と称賛の声でした。「怒りや騒乱がない」(ベトナム)、「世界一マナーのいい国」(中国)、「冷静沈着な行動」(インド)、「騒乱や略奪が起きない驚きの国」(ロシア)などです。

これら外国人からの称賛の声を聞くと私たちは誇らしく思うし、正直にそうなのだと自覚していいことだと思えます。これまで、日本人の勤勉さ、技術力の高さ等については外

この秘跡を北薩の地域に伝えたい(石神師)とそれぞれ力強く今後の働きについての抱負を語った。

教区人事

- ▼ 永山幸弘神父は四月十日付、奄美大島地区長及び司教代理
- ▼ J・サンタマリア神父(ザベリオ宣教会・大分教区)は国分教会主任。着任は復活祭後の主日
- ▼ 中野裕明神父は教区顧問
- ▼ 坂本進神父は教誨師
- ▼ 久保俊弘助祭は宣教会学校責任者
- ▼ 池上聖行助祭は母間教会での宣教司牧
- ▼ 川口茂助祭は加世田教会での宣教司牧及びカリタス・ジャパン教区担当
- ▼ 石神秀人助祭は阿久根教会での司牧司牧及び「聖園老人ホーム」事務長 ※いずれも三月十五日付

司祭の消息

さかのぼれば、「慈」はサンスクリット語で「真の友情」「純粹の親愛の念」を意味しており、一方「悲」は「哀隣」「同情」「やさしさ」「なげき」を意味しているそうです。(中村元「慈悲」講談社学術文庫32頁参照)この二語を一つにすれば、他人の苦しみを抜き、他人に楽を与えようとする実践的な徳であると言えます。従って、心理的には「共に悩み同情することである」と言えます。(同掲上 参照) 私たち人間の惨状に同情し、苦しみを自分の身に引き受け(慈悲)、そして復活の實りを下さった(連帯)イエス様の受難と復活のわざにあずかりたいものです。

(H・N)

YET

最近、無関心な自分に気づいて情けなく思う。先日もそうだった。「大変なことになっている」と一本の電話から、勤務中にもかかわらずテレビのスイッチを入れた。画面に映し出されたのは東北、関東を襲った大地震の様子。それも迫り来る大津波に今にも飲み込まれようとしているおびただしい数の、まだ走行中の車の列。大津波の襲来の映像などハリウッド映画のCGでしかお目にかかったことはない。それが報道用ヘリコプターからリアルタイムで放送されていた。飲み込まれていく家々、そして車々。それも海岸からは離れているはずの「襲われる」想像からほど遠い町や村でのものだ。そんな映像を目の当たりにしてしまつた▼「危ない」「逃げろ」などとテレビに向かつて声を上げたものの、その迫り来る津波にさらされていく人々の恐怖や悲しみ、そして起こってしまうかもしれない家族や友人との別れに対する無念さのたぐいにまったく思いを巡らせないでいた。そればかりか津波の巨大なエネルギーを「凄い」とさえ思っていたのを否めないでいる▼一方、家に帰るといまだ受洗に踏み切れないつれあい、泣きそうな顔で「あの人たちどうなったの?」と聞いてくる。「大変なことになったね」と同調はしたものの、どこか彼女の思いと温度差があるようで恥ずかしくなつた。そういえば昔のように街頭募金をしている人たちのもとに歩み寄らなくもなっている。心が少し行つてはならない方向へ傾きだしているようで恐ろしくなつた。

I 主任司祭の歓迎の言葉
 (川内教会：橋口神父様)
 II 祈りをもって始める。
 特に三位一体の神を信じ、
 従う恵みを求めて代表者が
 祈ります。

前回に続き、『信仰宣言』
 の最後の部分「教会の教え」
 に関して、神学的にどのよ
 うに捉えたらいいのか、今
 度も学びを中心としながら
 深めて行きたいと思えます。
 参考文献としては「カトリッ
 ク教会のカテキズム」(カト
 リック中央協議会発行、二
 ○〇二年発行)「信仰宣言の
 カテケージス」(竹山昭神父
 様(福音宣教師)を使用致
 します。

『使徒信条』では「聖なる
 普遍の教会、聖徒の交わり、
 罪のゆるし、からだの復活、
 永遠のいのちを信じます。」
 と簡潔に述べられているこ
 の部分はそれまでの「父」
 「子」「聖霊」に対する宣言
 とはいくつかの点で異なり
 ます。W・カスパーが言う
 ように「教会と秘跡、教導
 職はイエス・キリストにお
 いて、聖霊によってわれわ
 れの救いに関わる神を信じ
 る場合は異なった様式で信
 じられている。信仰は神に
 のみ直接的な関わりを持ち、
 その固有な内容を形成する。
 それに対して教会の秘跡や
 教導職は単なる救いの手段
 であり、それらが救いを現
 実化し、仲介する限り、信
 仰はそれらと関わりをもつ
 のである」(現代のカトリッ
 ク信仰)言い換えると「父」
 「子」「聖霊」を信じるわた
 したちの信仰は本質的に「教
 会的な信仰」である事を意
 味しています。ラテン語で
 の表記も「父」と「子」と「聖
 霊」を信じる場合、「Credo
 Deo」と表記されるのにな
 対し、教会を信じる場合、
 「Credo」と表現されてお
 り、このことを表している

と言えます。
 ① 聖なる普遍の教会 II 神
 に呼び集められた人々の集
 い

日本語で教会と訳されて
 いる新約聖書の言語は「エ
 クレシア」で、「呼び集めら
 れた人々の集い」という意
 味になります。つまり本質
 的に神から呼ばれた者であ
 り、集い II 共同体という二
 つの側面を有するのが教会
 なのです。聖なる普遍の教
 会という時、「父」「子」「聖
 霊」が全ての人を招き、招
 かれた人がこの神を信じ、
 この神に應える同じ信仰を
 持つ人々の集い II 共同体と
 しての教会が存在するとい
 うこととなります。教会は
 人間の集まりであると同時に
 「キリストのからだ」を

の間に生けるつながりが存
 在し、それが助け合うこと
 を可能にすることを信じる
 ことができるのでしよう。
 父と子と聖霊の交わりを共
 同体の絆とする教会は、死
 の壁を越えて救いの完成の
 状態にある兄弟たちも、清
 めの最中の兄弟たちをも含
 み、この助け合いを信じる
 のです。

北薩地区宣教奉仕者 (信徒使徒職) 養成講座

信仰宣言を神学的に捉える⑦

出水教会主任司祭 大松正弘

なす神から呼ばれた一人ひ
 とりの多様な人々の共同体
 でもあります。さらにこの
 共同体は「旅する神の民」
 としてまだ完成されておら
 ず、父のもとに最終的に行
 きついてもいないし、いま
 だ集められつつある旅の途
 上にあるのです。

② 聖徒の交わり

教会が父と子の霊である
 聖霊に生かされているのな
 ら、お互いの間にも同じ霊
 による交わりがあっても別
 に不思議なことではないで
 しょう。「コンムニオ・サン
 クトルム」の意味は交わり
 としての教会の本質を表
 現したものであり、聖なる
 者(複数)は救いの祝福を
 いただくすべてのキリスト
 者なのです。同じ絆、同じ
 生命に結ばれて生きる人々

③ 罪のゆるし

ここからはわたしたちが
 自らの現在と未来への希望
 を三位の神からどのように
 いただくかを告白していま
 す。まず、罪のゆるしですが、
 罪自体が独自に存在するよ
 うに感じられませんが、人の
 心に深く刻まれ、消し去る
 ことも、自らの力で清める
 ことも捨てることができな

ます。からだの復活は現代
 人にイメージしにくい信仰
 の神秘ともいえません。つま
 り死んで腐敗し、あるいは
 火葬された肉をもたない骨
 が新たに復活することを信
 じるイメージがあるからで
 しょう。しかし聖書は人間
 を魂と肉体に分けるような
 人間観を持っておらず、諸
 信仰宣言がこのようにいう
 時も同じ意味で理解すべき
 でしょう。したがっていま
 具体的には、こうして生きて
 いるわたし自身が復活させ
 られるということを感じる
 のです。

現代人が理解している人
 間観は様々な文化や人間観
 に影響を受けてきました。
 ギリシャ思想は人間を「霊
 魂」と「肉体」という二要

い一人ひとり深く結ばれ
 た、神に反する思い、言葉、
 行いが罪と言えらるでしょう。
 愛が他者を大切にすることに
 ならず、罪は愛の欠如、すな
 わち、自己中心、自分さえ
 良ければいいと考えること
 でしょう。こうした罪が癒
 されるとしたら、傷つけら
 れ断たれた相手からの愛以
 外にはありえませんが、キリ
 スト者は神からの愛におい
 てのみ、罪のゆるしを受け
 取ることができ、神の愛に
 よつてのみ罪が赦されたこ
 とを信じるのであります。

④ からだの復活

からだの復活を信じるこ
 とはいっそうわたしたちの
 終末への希望を告白してい
 ると信じるのです。

⑤ 永遠のいのちを信じま

す この世のいのちを終え、
 人生におけるキリストとの
 関わり合いについての私審

+KABAYAN SEKSIYON+
"KALALAGAYAN"

May tunay na hamon ngayon sa mga Pilipinong Katoliko. Sa lahat ng panig ay may katanungan malaon nang tinanggap ng nakararaming Pilipino. **"Bakit ninyo sinasamba ang Mahal na Birheng Maria?"** Tanong sa mga Katoliko. **"Bakit kayo nagtitipon ng mga imahen ng Sto.Nino?"** **"Bakit sa Pari mangungumpisal?"** Tunay nga bang Diyos si Jesus? **"Bakit makikialam sa pulitika at sasama sa mga welga sa larangan ng pangkabuhayan?"** Kung gayon, ang pangangailangang mauunawaan ang pagsasabuhay ng Pananampalatayang Katoliko ay biglang tunay na naging napapanahon. Sa Unang Sulat ni Pedro tayong ay kanyang pinaaalalahanan: **"Humanda kayong lagi na magpaliwanag sa sinumang magtatanong sa inyo tungkol sa inyong pag-asa. Ngunit maging mahinahon at mapitagan kayo sa inyong pagpapaliwanag" (1 Ped 3:15-16a).** Hindi na sapat sabihin lamang ng isang Katoliko: **"Hindi ko alam kung bakit, basta't ganyan na ang nakagawian naming gawin."** Gayundin, ang mabatid kung **"bakit"** tayong mga Katoliko ay ganito ang pagsasabuhay ng ating Pananampalatayang Katoliko ay HINDI nanggagaling sa pagsasaulo ng mga inihandang pormula. Sa halip, nangangahulugan ito ng pag-unlad at kaganapan sa ating personal na pananampalataya kay Kristong ating Panginoon, sa loob ng kanyang Katawan, ang Katolikong sambayanan. Isa ito sa mga biyayang ibinibigay ng ating pananampalataya na mayaman sa katotohanan na turo ng Simbahang Katoliko. Ang mga turo na ipinamana ng **Tradisyonal Apostol** o mga **Alagad** ng ating Panginoong Hesukristo, na siya mismo ang nagturo sa mga alagad niya na ipinahayag naman nila sa buong daigdig. Kaya ang lahat na itinuro at natutunan natin tungkol sa Pananampalatayang Katoliko, hanggang ngayon ay yan pa rin ang ating mga sinusunod at ginagawa at ipinapahayag din sa ating mga kapwa nananampalataya. Subalit kailangan pa natin na mas palalimin ang ating mga pananampalataya sa pamamagitan ng pag-aaral, pagsasaliksik at pakikipaghalubilo sa kapwa nananampalataya sa Diyos na Buhay.
Katekismo-Pilipinong Katoliko (Fr. Dino Orolfo)

お知らせとお願い

教区巡礼委員会

教区巡礼委員会では、次の予定で巡礼を計画し、また会合を開いています。巡礼に関する意見などございましたら、教区本部「巡礼委員会」までお寄せください。尚、本部には委員が常駐していない関係上、ご意見は文書にてくださいますと幸いです。

会 合：4月14日(木)、5月12日(木)、6月9日(木)、7月14日(木)、9月15日(木) ※会合は18時からザビエル教会で

巡 礼：5月29日(日) 始良・国分・溝辺方面教会巡礼、8月9日(火)～10日(水) 長崎原爆投下タイムツ行列参加と長崎教会巡り

※いずれも参加費用等は後日発表

「信仰養成講座」に参加しませんか

開催日：毎月第2木曜日(8月は休み)
 時 間：午前の部 10時から12時
 午後の部 19時から21時
 場 所：教区本部2階会議室
 講 師：中野裕明神父
 参加費：1回 500円

※テキストには「カトリック教会のカテキズム 要約」を使用いたします。

同本推薦の言葉

「ここにわたしが普遍教会に与える『要約』は、『カトリック教会のカテキズム』の忠実かつ確実な要約です。本書には、教会の信仰の本質的かつ根本的なすべての要素が簡潔な形で含まれています。それゆえ、本書はわたしの前任者が望んだように、信者も信者でない人も、カトリックの信仰の全貌を見渡しながら把握できるための、いわば『便覧』となるものです。」

教皇ベネディクト 16 世

《感謝の祈り》今回で北薩地区養成講座を終えたいと思います。北薩地区に終身助祭石神師が誕生したことはこの講座の目的でもあり、彼のこれからの奉仕に神の導きを祈ります。

「教区財政正常化献金」再度実施のお願い

教区会計担当司祭 中野裕明

二教区財政を知り考えよう」をテーマに開催された教区評議会(十一月三日)での発言は「発言集」としてまとめられ各小教区に配布されました。その発言集をもとに経済問題評議会

(十二月五日)、臨時司祭評議会(十二月九日)を開催し、話し合いの内容はすべて「教区評議会」の司教への答申として提言されました。司教はこれを受けて、教区報新年号一面に、年頭

書簡「温かな関わり方の教会を目指して」を発表しました。実はこの年頭書簡こそ、答申に対する「指針」なのです。カトリック教会において、すべての会議は評議会

の性格を持ちます。それは全世界の教会に対しては教皇が、小教区に対しては司教が、小教区に対しては主任司祭が、ある議題を提示し諮問します。評議会は、その議題について話し合います。その結果を提言としてまとめ、答申とします。今回の司教の年頭書簡はその答申に対するこたえという

ことになります。全世界の教会に対して、教皇は「使徒的書簡」というタイトルで発表します。司教は「正常化献金の継続」について、年頭書簡の冒頭で小見出しをつけて語っていますので注意深くご覧下さい。皆さまのご理解と変わらぬご協力をお願いいたします。

終身助祭は社会とのかけ橋

奄美地区信徒大会でその導入を宣言

二月二十日(日) 聖心教会に島内から三百五十人あまりの信者が集った「奄美地区信徒大会」。ここでは南日本新聞社総合メディア局長で、戦前の奄美での迫害を題材にした「聖堂の日の丸」の著者・宮下正昭さんを外部講師として招い

た。これは奄美大島地区教会の姿を客観的に知りたいという信者たちの強い要望からだった。午後一時から「奄美と地域、カトリック これからは」と題して講演した宮下さんは、この日奄美地区教会が発表する「十年後(二

〇二〇年)の奄美のカトリック教会を私たちは希望をもって展望します」を取り上げ、「教会にはその地域に根ざした生き方があると思う。もっと積極的に教会という場を活用し外に向かつて発信して欲しい」と述べた。また、終身助祭制度についても奄美の教会の再活性化のために大変意義深いと語った。その上で、奄美における諸宗教対話の場を設け、奄美の様々な

司教執務室便り

究極のおせっかい?

最近楽しい伝播力に圧倒されている。今どきのフェイスブック。売り込みの文句は「友達や同僚、同級生、仲間たちとつながりを深められます。」いままらと思わないでもないが、ネット宣教のこともあり、それにワールドユースデー本部事務局の薦めもあって始めることに。手続きを済ますと、運営する側からずかさずメールが届いて「知り合いかも?」見るとマニラの貴島君!本人が送ったメールではないというから驚く。登録しさえすれば何十万という登録者の共通点を瞬時に識別できるソフトがあるらしい。そして自己紹介の欄に書かれた「カトリック」が共通点として認識されたのかも知れない。なんとなくおせっかいな感じもするのだが、宗教や信条など身分を明確にすることはなんとなくはばかられるのだが、こんなにも役立つとは想像したこともなかった。お陰でスペインの

園田神学生とも「お友だち」になれた。遠足に行つたときの写真も公開していてスペインでの生活をエンジョイしていることが手に取るように分かって安心した。からくりは良く分からないとしても平たく言えばお友達紹介所がネット上でなされていくというところらしい。しかしその伝播力には目を見張るものがある。次から次と増殖していく姿はまるでアメーバ。毎日のように「〇〇さんから友だちリクエストが届いています」というメールが入る。通りでバツタリ出会ったときの思わず歓声を上げたくなる人がいたりすると嬉しい。二人の神学生がそうだ。見当がつかないときはその人のプロフィールを見る。宗教がカトリックだったり、その人の友だちによく知っている人がいたりすると「承認」をクリック。もしかしたらこのおせっかいネットおじさん、上手にお付き合いするとネット宣教の強力な助っ人になってくれそうな予感がする。もしそうなら究極のおせっかいに栄光あれ、だ。



4月の会と催し

- 2日(土) 中野裕明神父叙階記念日(一九七八年)
- 3日(日) 四旬節第四主日
- 10日(日) 四旬節第五主日
- 11日(月) 司祭評議会・教区本部・10時
- ▼教区司祭会・教区本部・16時
- ▼フリチエル神父叙階記念日(一九五五年)
- 12日(火) 定例司祭集会・教区本部・10時
- 17日(日) 受難の主日(枝の主日)
- ▼世界青年の日
- 18日(月) 松森孝郎神父叙階記念日(一九七一年)
- ▼レデンプートル会例会
- 21日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
- ▼聖香油のミサ・カテドラル・10時
- 22日(金) 聖金曜日(大斎・小斎)
- ▼アン神父叙階記念日(二〇〇六年)
- ▼聖地のための献金
- 23日(土) 聖土曜日
- 24日(日) 復活の主日
- 25日(月) マイエル神父命日(一九七八年)
- 26日(火) 奄美例会
- 28日(木) アッシュヤー神父叙階記念日(一九六四年)

Sr.坂井美智代 大口明光学園校長



終身助祭は、地域社会と教会とのかけ橋として期待できる。妻帯し家族があるという終身助祭は、一人ではなく家族で働けるメリットを持つている。「終身助祭団会議」などができるようになれば、もっと社会に開かれた、生活レベルでの支え合いが可能になる。また司教は、展望の中には組み込まれてなかった若者たちにも大きな期待と希望を寄せていると話した。司教の講話の後は、ミサがささげられ、その中で信者を代表し碓山誠さん(36歳・聖心教会)が奄美地区

三月六日(日) 午前七時三十分、大口明光学園の坂井美智代校長(カノッサ修道女会)が急性心不全のため大口修道院で帰天した。六十八歳だった。一九四二年福岡県に産まれたシスター坂井は、一九六八年にカノッサ会入会。一九七一年九月に

初誓願、一九七八年二月に終身誓願を宣立していた。大口明光学園の校長に就任したのは、一九九一年のこと。以後、聖カノッサの精神を生徒に伝えることに全力を挙げていた。シスター坂井の葬儀は、三月八日(火)十時から大口教会で厳かに執り行われ、その温かい人柄を偲んで生徒・学校関係者はもちろんのこと、信者や卒業生たちが大勢参列し、何ごとも前向きに進んでいったその人柄を偲んだ。

経営が難しくなっていた。数年前にも閉園について検討されたが、地元の要望にこたえる形で加世田聖母幼稚園の分園の形をとるなどして存続させてきた。しかしその努力にもかかわらず園児数減少に歯止めはかからず、今回の閉園へと踏み下ろすこととなった。同園最後の園長を務めた泉浩二神父には、幼稚園の関係者達から「卒園証書」が手渡された。



四十年の歴史に幕 枕崎カトリック幼稚園

鹿兒島教区が経営母体となつている学校法人聖マリア学園の「枕崎カトリック幼稚園」(泉浩二園長・園児数六)が、三月末で閉園

となり、三月十三日(日)に閉園感謝祭、また三月十八日(金)には閉園式を挙行した。枕崎カトリック幼稚園は、一九七一年に開園され、一時は百人を超える園児を預かっていたが、少子化に伴い毎年園児数が減少、この数年は十人程度で、

カタリナ永俊尼の信仰(中・③)

種子島教会主任司祭 坂本 進

5 島津家とカタリナ
茂野氏は、カタリナが島津義久の側室であったという説があること(鹿兒島県史)を、提示しておられました。

また、「種子島家譜」に、「カタリナは十九代藩主光久の外祖母」と記している項目があり、このことから、カタリナが、島津本家の義久、義弘、歳久、三兄弟のいずれかの夫人であったことが、確かめられるわけです。

フランシスコ・ザビエル神父を薩摩に迎え入れた十五代藩主貴久の子で、十六代藩主になったのが義久です。義久は戦国時代から江戸時代初期における薩摩の激動期を生きた、勇猛果敢にして智力に秀でた名将として、よく知られています。義久は九州の三傑の一人といわれ、他の二

東北関東大震災の津波による死者は一人を超えようです。これをマリアさまが度々警告しておられる清めの始まりではないかと、言う人もいます。その理由は、我が国で年間百万人も、人工中絶があつたり、「金さえあれば何でもできる」とお金を神さまと思つて、いる人が多いからだといふのです。そこで神さまは、その間違いに気づかせるために、災難をお与えになったという理屈のようです。しかし、今は黙示録の時代だと言ふ人もいます。私たちは、今こそ、聖書に書いてあることをよく読むべきだと思ひます。

傑であった肥前の竜造寺隆信、豊後の大友宗麟を撃破し、九州制覇を成し遂げようとしていたのです。しかし、この野望は大友宗麟の懇願によって九州に兵を出した豊臣秀吉の島津征伐によつて、砕かれてしまいました。義久は、秀吉に降伏し、秀吉は、義久に薩摩の所領をそのまま安堵したのでした。これは、義久の政治・外交的力がなからしめたものといえましよう。

さらに、関ヶ原の合戦において、義久の弟で勇猛果敢といわれた義弘(十七代藩主)が、豊臣方(西軍)に就いたのに、この罪を徳川家康に謝罪し、薩摩の所領をそのまま安堵させているのです。継嗣となつて息子の恒久は、家康からその一字を賜り「家久」と改名。この家久が、カタリ

聖書には希望のみことばもあります。イザヤの四十三章ですが「恐れるな。あなたはわたしのもの。水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる」とあります。そうです。主が

ナを義母と仰ぐことになつた十八代藩主家久です。かかる義久の政治・外交能力には、驚くべきものがあります。カタリナは、島津一族の一員となつてから、義久の卓越した政治・外交力に接し、見習うようになつていったのかもしれないね。

6 戦国の激動の世に、信仰者としての信念を貫いたカタリナ
小西一族の娘であつたカタリナは、なんらかの縁によつて、島津一族に嫁ぎ、豊臣から徳川に移り変わる激動期に、キリシタンの教えに生きる信仰者として、その生涯を貫き通しました。

また、カタリナは、藩主である義久、義弘、家久、三代の政治的対応の仕方を見、観察しながら、そこから、キリシタン信仰に生きる生き方と、薩摩を学び、考え続けたのではなかつたでしょうか。カタリナの出自は、謎に

共に行くべきだと思ひます。では主のみ旨とは何

みことばシリーズ

恐れるな!

終身助祭 久保俊弘

の指示によつて、微力ながら一昨年から宣教学校を始めました。目標は、信仰の強い信徒をつくり、主が今でも生きて働いておられることを体験するためです。ぜひお誘い合わせの上、ご

集いと研修

- スピリチュアル黙想会「イエスは友」4月9日(土)10時~4月10日(日)16時30分 マリア山荘 W・キッペス神父 10,000円 申込 ☎099(252)8881・本田、099(262)4022・宮地
●障害者の自立を考える「パッション」の会 4月10日(日)15時 鴨池教会
●ホリスティック黙想「罪悪感」坂本進神父 4月18日(月)10時~12時 ザビエル教会1Fホール 参加費500円
●ホリスティック・スピリチュアル講座「トウルニエ医師の人格療法」坂本進神父 4月19日(火)18時30分~20時30分 ザビエル教会集会室 受講料1,000円
●宣教学校「イエスとの出会いで神との救いを体験する」5月2日(月)18時30分~21時/3日(火)及び4日(水)9時~17時 教区本部2F会議室 受講料2,500円(昼食代は別途申込500円) 申込①各小教区の申込用紙 ②教区本部へファックスかハガキで(〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 099-225-0440) 申込締切は4月18日(月) ※聖書を持参のこと。

多く包まれていきます。しかし、確かなことがありません。それは、カタリナが、キリシタンである小西一族につながる者であり、熱心なキリシタンとして生涯を送つたことです。そして、信仰を信念にまで昇華させ、キリシタン・非キリシタンの別なく、奉仕の精神をもって人々に接し続けたということですね。

参加ください。宣教学校後の司教さまと一緒に反省会では、「講話が楽しく分かりやすく、とてもよかつた」「こんな研修会が日本中に広がって欲しい」などの声が上がっていました。すべては私たちの力ではなく主がすべてをお導きになられたという臨済を感じられる三日間でした。

この未曾有の大災害の今こそ、日本、世界の人がキリストのもとに一つになるべきときなのです。神の国の完成を待ち望む教会が、愛と平和の道具になれますよう、主にすべてを委ねて進みましょう。

文芸

ひとり言 始良市 みはらせい

「キリストには代えられません」...と何気なく口ずさんだペトロ神父さまの詩がこれほど心を捉えるとは思ひ出せないところは、ハミングで「このお方が、わたしに代わつて死んだ故です」と、くり返しているわたしです

妻と崇めん 鴨池教会 淵脇千寿子
真白きかもめ飛びかいて主の歩かれし足あと偲ぶ(ガリラヤ湖にて) 霧島市 市来 房枝
親しみし神父さまの移動知り訪ねゆきたりマリア山荘 霧島市 徳永ノブ子
幾年もシャワーボランテア続け来し信仰篤き友の召さるる(川越和子さんを悼む)

愛光園 春山マリ子
一筋の我が道歩む思ひかな行く手遠のく運命の糸

霧島市 政 ノブ子
春霞お別れ間近か折る日々 霧島市 徳永ノブ子
復活祭近づく野山萌黄色 霧島市 政 ノブ子

純心学園 川上 和
思い出のアーチガーデン今もなお描き続けるドームの十字

純心学園 川上 和
春浅きイザヤのしらべ胸碎く 純心学園 川上 和
春の花咲きし野辺行く美しさ 愛光園 春山マリ子

純心学園 川上 和
山荘を訪へば隣の院の光清しくさして

純心学園 山頭 信子
やぶ椿焼酎びんに挿されけり

「東北関東大震災」の義援金は
仙台教区サポートセンターへ
郵便振替番号：02260-9-2305
加入者名：カトリック仙台司教区本部事務局
※通信欄に「東北関東大震災仙台教区支援」とご明記下さい。